

令和5年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院名古屋校

1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」を Web アンケートツール「Forms」により実施している。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の8つの項目について、5点満点で点数化した。また、系列校であるクラーク記念国際高等学校の各拠点で同一の調査を行い、結果を比較した。

令和5年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

	カテゴリー	点数	全国平均点数	地区別偏差値	同規模CP偏差値	全国偏差値 今年度	全国偏差値 昨年度
生徒	教科学習	3.57	3.56	50.07	50.29	50.21	
	グローバル教育	3.56	3.41	51.09	51.15	51.76	
	キャリア探究	3.59	3.49	50.74	51.02	51.24	
	リフレクション・コーチング	3.46	3.54	50.09	49.57	49.18	
	満足度	3.60	3.57	49.65	50.33	50.43	
保護者	満足度	3.82	3.76	50.66	51.02	50.82	
	ニーズ	4.54	4.45	51.37	50.80	51.65	
	成長感	3.86	3.80	49.86	50.87	50.79	

3 考察

(1) 生徒意識調査アンケート

- ・「教科学習」「グローバル教育」「キャリア探究」「満足度」の4項目で全国平均を上回る結果であった。
- ・それに対して、「リフレクション・コーチング」では全国平均を下回る結果となった。
- ・「リフレクション・コーチング」については、授業スケジュールや時間割編成上、十分な時間を取ることが出来ず、実施方法や頻度についても各クラスで差が出来てしまい、全校としての取り組みとして機能させることが出来ていなかった点が反省として挙げられる。
- ・次年度に向けては、リフレクションを実施する専用のワークブック形式の教材を独自制作し、ワークシートの記入を進めることで生徒が目標設定から振り返りまでが行える仕組みを構築することで、「リフレクション・コーチング」の点数を向上させていきたい。

(2) 保護者意識調査アンケート

- ・「満足度」「ニーズ」「成長感」のすべての項目で全国平均を上回る結果となった。
- ・保護者については、生徒の満足度等が結果に相関すると考えられるため、まずは生徒に対してしっかりと成長が実感でき、満足な学校生活を提供できるよう、教育内容の更なる充実化に向けて真摯に取り組んでいくことが重要である。
- ・加えて、学校でどのような活動が行われているのか、その際の生徒の様子など、学校からの情報発信を強化することで、より教育に対する理解度も向上し、満足度等に良い影響が出ると考えられるため、学校通信の発行など、新たな情報発信の仕掛けを行っていく。